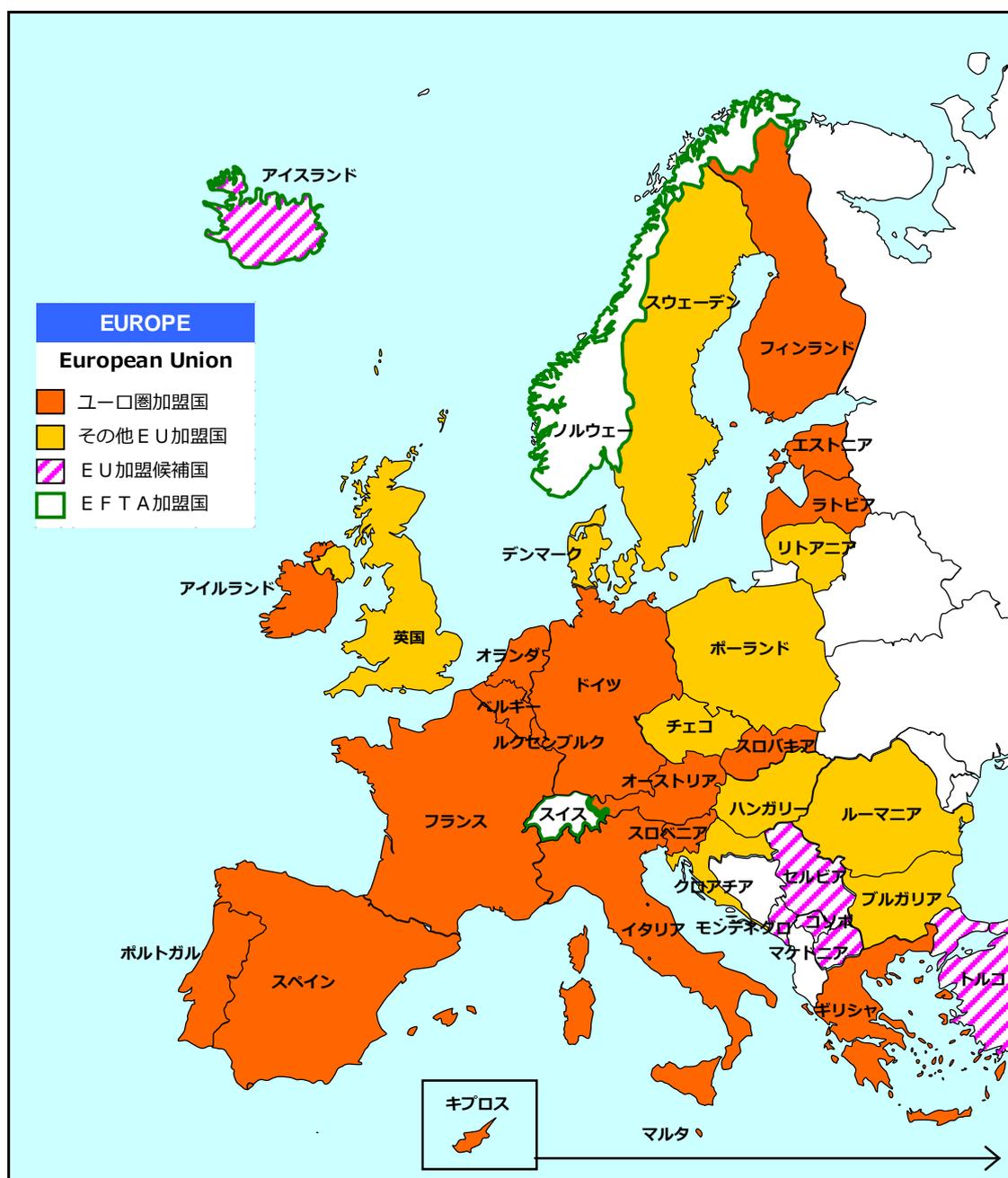


2014年5月22日 全13頁

欧州経済アップデート (2014.5)

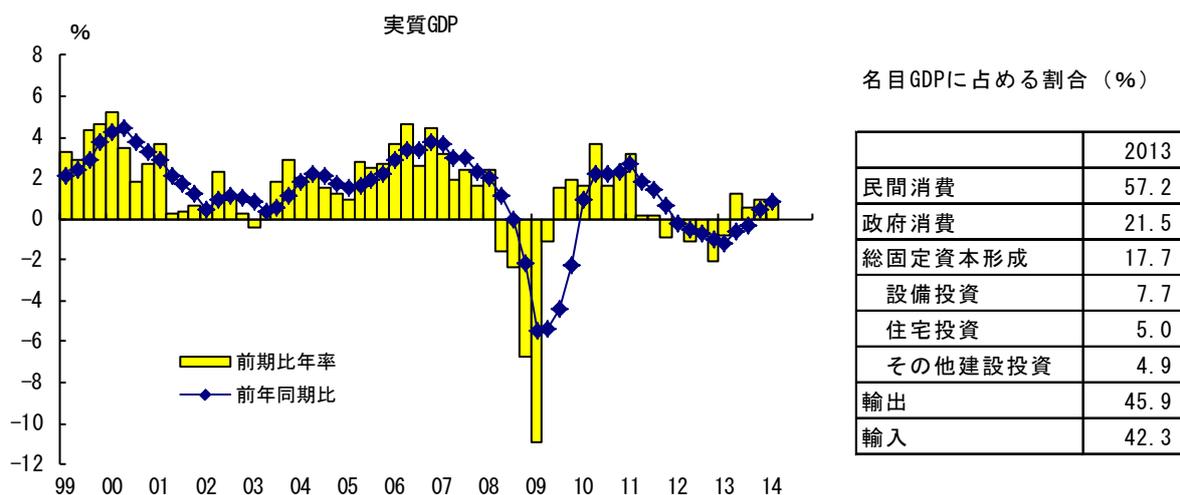
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 14年Q1のGDP成長率（速報）は前期比+0.2%と13年Q4から変わらず。4四半期連続のプラス成長となった
- 前年同期比では+0.9%と13年Q4の同+0.5%から加速
- 14年Q1の内訳は、6月4日に公表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.8	0.0	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.2	0.2
個人消費	0.2	-0.6	0.2	-0.6	-0.3	-0.5	-0.1	-0.6	-0.2	0.1	0.1	0.1	-
政府消費	-0.1	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.0	0.2	-0.1	0.4	-0.3	-
総固定資本形成	2.4	-0.6	-0.4	-0.7	-1.0	-1.8	-0.7	-1.4	-1.7	0.1	0.5	1.1	-
設備投資	2.1	0.2	0.4	-1.1	-0.9	-2.0	-0.6	-1.1	-1.3	0.8	0.4	2.1	-
住宅投資	2.8	-1.1	-1.3	-0.3	-0.2	-1.4	-0.9	-1.9	-1.4	-0.6	0.8	-0.2	-
その他建設投資	2.5	-1.4	-0.6	-0.3	-2.0	-1.7	-0.7	-1.5	-2.7	-0.2	0.4	0.5	-
輸出	1.6	0.4	1.3	0.3	0.8	0.9	0.7	-0.6	-0.9	2.4	0.1	1.3	-
輸入	1.5	-0.1	0.6	-1.1	0.0	-0.2	0.3	-1.0	-1.2	1.7	0.9	0.5	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

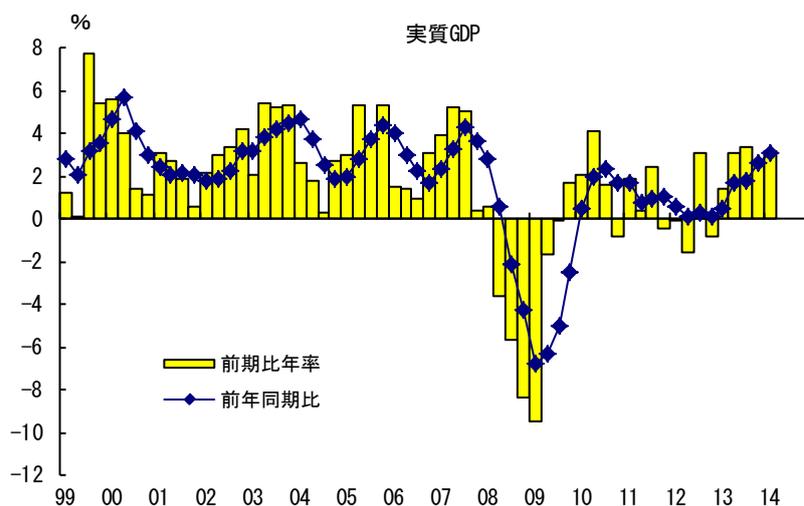
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.78	0.04	0.04	-0.22	-0.07	-0.27	-0.16	-0.52	-0.21	0.32	0.14	0.23	0.19
個人消費	0.10	-0.31	0.14	-0.37	-0.15	-0.30	-0.08	-0.33	-0.10	0.05	0.05	0.04	-
政府消費	-0.03	0.01	-0.06	0.04	-0.06	-0.06	-0.05	-0.01	0.05	-0.01	0.08	-0.06	-
総固定資本形成	0.45	-0.12	-0.07	-0.12	-0.19	-0.33	-0.12	-0.26	-0.31	0.02	0.09	0.19	-
設備投資	0.18	0.01	0.03	-0.10	-0.08	-0.17	-0.05	-0.09	-0.11	0.07	0.03	0.18	-
住宅投資	0.15	-0.06	-0.07	-0.02	-0.01	-0.07	-0.04	-0.10	-0.07	-0.03	0.04	-0.01	-
その他建設投資	0.13	-0.07	-0.03	-0.01	-0.10	-0.08	-0.03	-0.07	-0.13	-0.01	0.02	0.02	-
在庫変動	0.20	0.25	-0.28	-0.35	-0.04	-0.06	-0.13	-0.05	0.06	-0.11	0.27	-0.34	-
輸出	0.71	0.16	0.56	0.14	0.37	0.40	0.34	-0.27	-0.43	1.08	0.05	0.60	-
輸入	-0.62	0.05	-0.23	0.45	-0.02	0.08	-0.11	0.40	0.50	-0.70	-0.38	-0.20	-
純輸出	0.09	0.21	0.33	0.59	0.36	0.48	0.23	0.13	0.07	0.38	-0.33	0.40	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14年1月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は18か国。14年1月以降のデータが公表されている場合、過去に遡って18か国ベースに修正済み。13年12月まで公表のデータは17か国ベース。

英国 GDP

- 14年Q1のGDP成長率（速報）は前期比+0.8%と5四半期連続のプラス成長
- 生産ベースで見ると、プラス寄与が最も大きいのはサービス業だが、製造業の拡大が目立つ。また、建設業もプラス成長に転じた
- 14年Q1の内訳は、5月22日に公表予定



名目GDPに占める割合（%）

	2013
民間消費	66.4
政府消費	21.3
総固定資本形成	14.0
政府部門	2.0
企業部門	7.8
民間住宅投資	3.0
輸出	31.4
輸入	33.0

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.5	0.1	0.6	-0.1	0.0	-0.4	0.8	-0.2	0.4	0.8	0.8	0.7	0.8
個人消費	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.5	0.5	0.3	0.4	1.0	0.3	0.8	0.3	-
政府消費	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.5	-1.6	0.2	0.2	-0.5	1.4	0.6	0.0	-
総固定資本形成	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.6	-1.5	-2.7	-5.1	0.9	4.0	1.9	1.9	-
政府部門	0.0	-13.3	5.1	-4.8	9.1	7.3	-12.9	-5.0	-8.1	11.8	1.1	1.3	-
企業部門	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	7.5	-2.6	0.5	-7.4	2.8	0.9	2.4	2.4	-
民間住宅投資	-6.5	6.2	7.8	1.1	-5.1	-4.8	-2.5	0.3	0.6	8.0	0.6	0.5	-
輸出	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.2	-1.4	3.3	-1.1	-1.0	2.5	-1.9	2.8	-
輸入	-2.6	-0.7	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	0.0	-2.4	2.3	1.5	-0.4	-

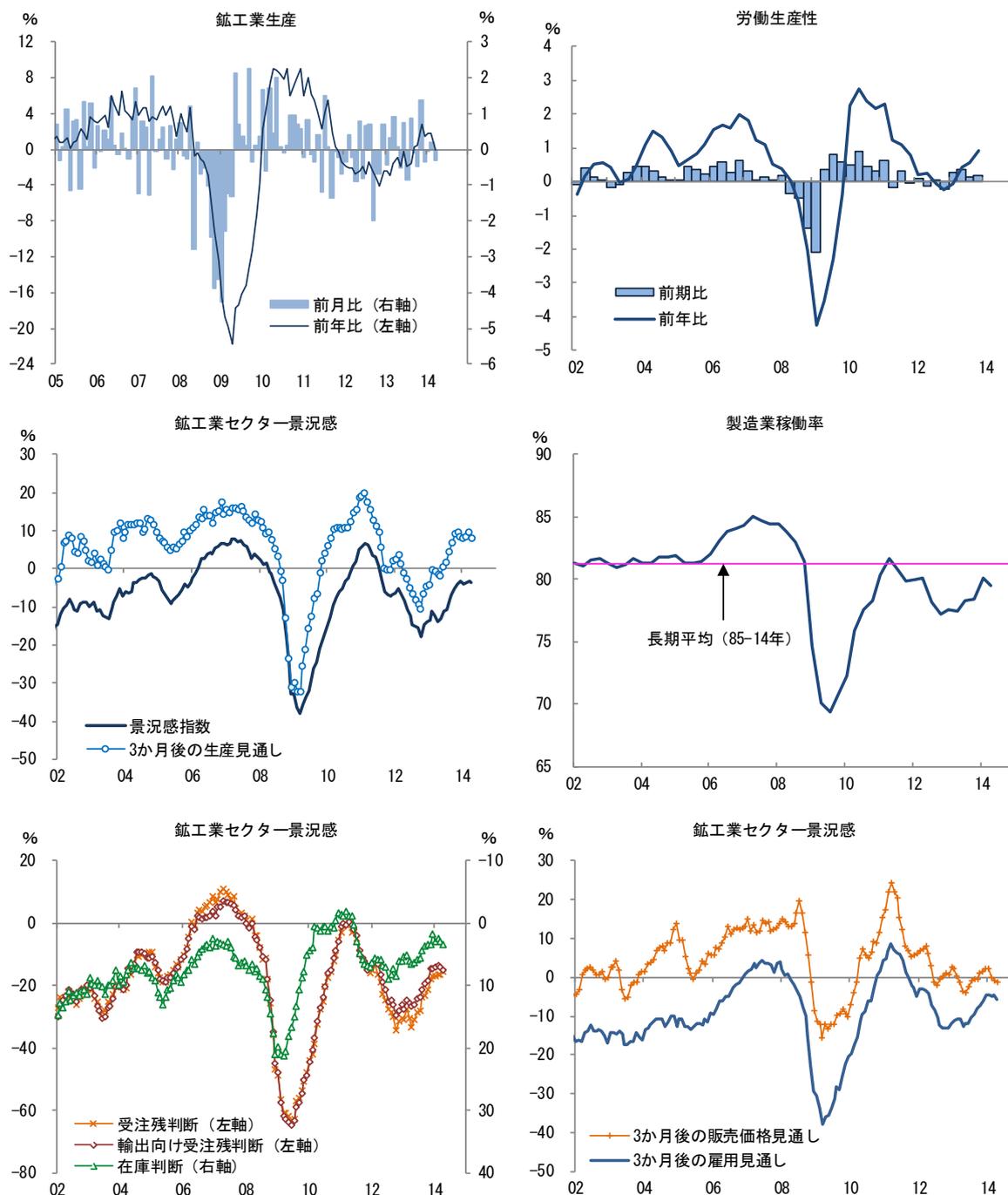
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.39	0.77	-0.21	0.36	0.76	0.84	0.68	0.80
個人消費	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.29	0.30	0.19	0.29	0.62	0.17	0.49	0.19	-
政府消費	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.55	-0.36	0.05	0.05	-0.12	0.32	0.14	0.01	-
総固定資本形成	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.66	-0.23	-0.41	-0.73	0.12	0.54	0.26	0.27	-
政府部門	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.19	0.17	-0.32	-0.11	-0.16	0.22	0.02	0.03	-
企業部門	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.60	-0.22	0.04	-0.62	0.22	0.07	0.19	0.20	-
民間住宅投資	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.17	-0.15	-0.08	0.01	0.02	0.24	0.02	0.02	-
在庫変動	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.59	0.85	0.17	0.63	-0.66	-0.25	1.08	-0.77	-
輸出	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.39	-0.43	1.03	-0.36	-0.30	0.77	-0.61	0.86	-
輸入	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.34	-0.39	-0.16	0.00	0.78	-0.75	-0.49	0.13	-
純輸出	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.72	-0.82	0.88	-0.36	0.48	0.03	-1.10	0.99	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 3月の鉱工業生産は前月比 -0.3% 、前年比 -0.1% 。Q1は前期比 $+0.2\%$ に減速。エネルギーが -4.0% と大きく減少したのが主要因で、製造業は同 $+0.9\%$ と堅調な伸びが続く
- 4月の鉱工業セクター景況感はわずかに悪化。3か月後の生産見通し及び在庫判断が悪化したため
- 14年Q2の製造業稼働率は 79.5% と3四半期連続の上昇から低下に転じた

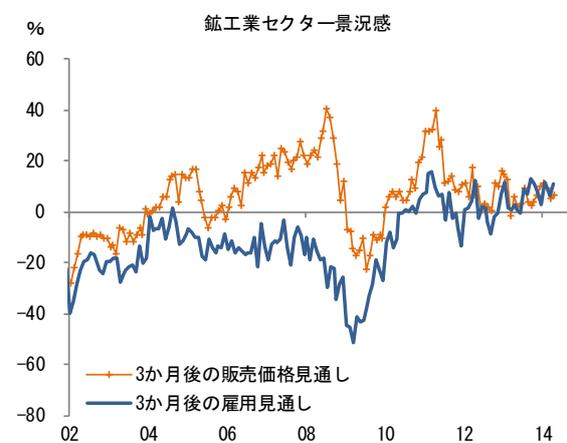
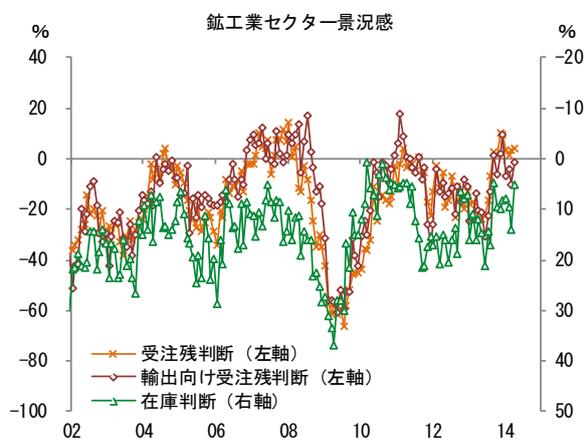
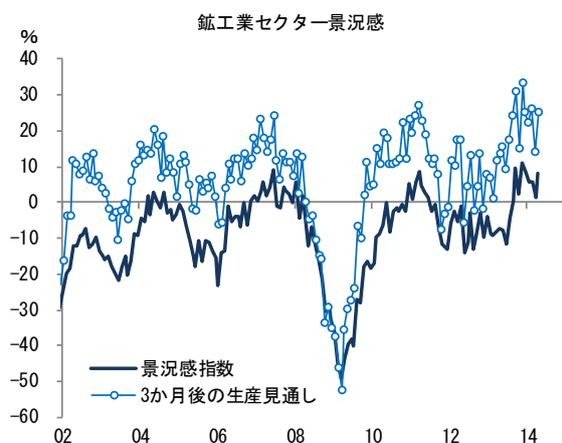
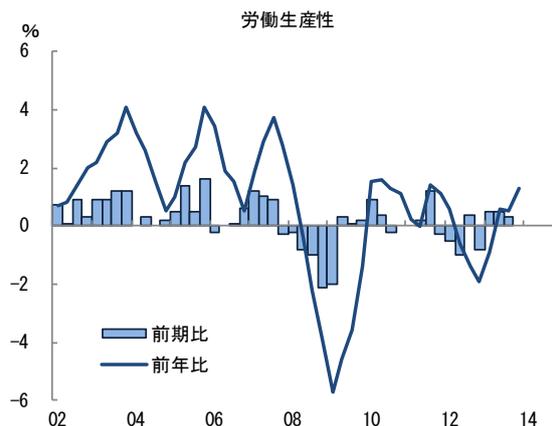
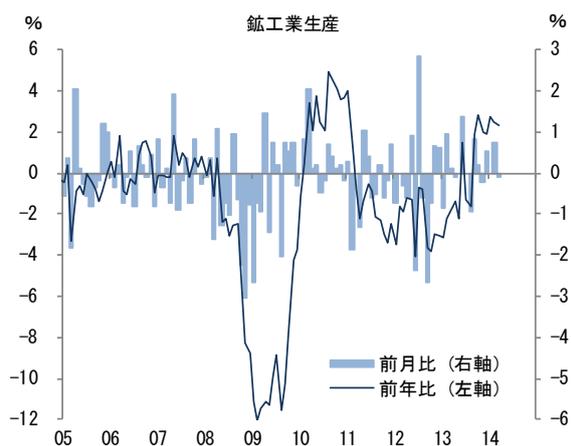


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 3月の鉱工業生産は、鉱業がマイナス寄与に転じ前月比-0.1%と4か月ぶりのマイナス。前年比は+2.3%。Q1は製造業が大きく増加し、前期比+0.7%に加速した
- 4月の鉱工業セクター景況感は前月比改善。構成項目の在庫判断及び3か月後の生産見通しの改善が顕著
- 14年Q2の製造業稼働率は80.7%とQ1よりやや低下したが、長期平均と同水準を維持

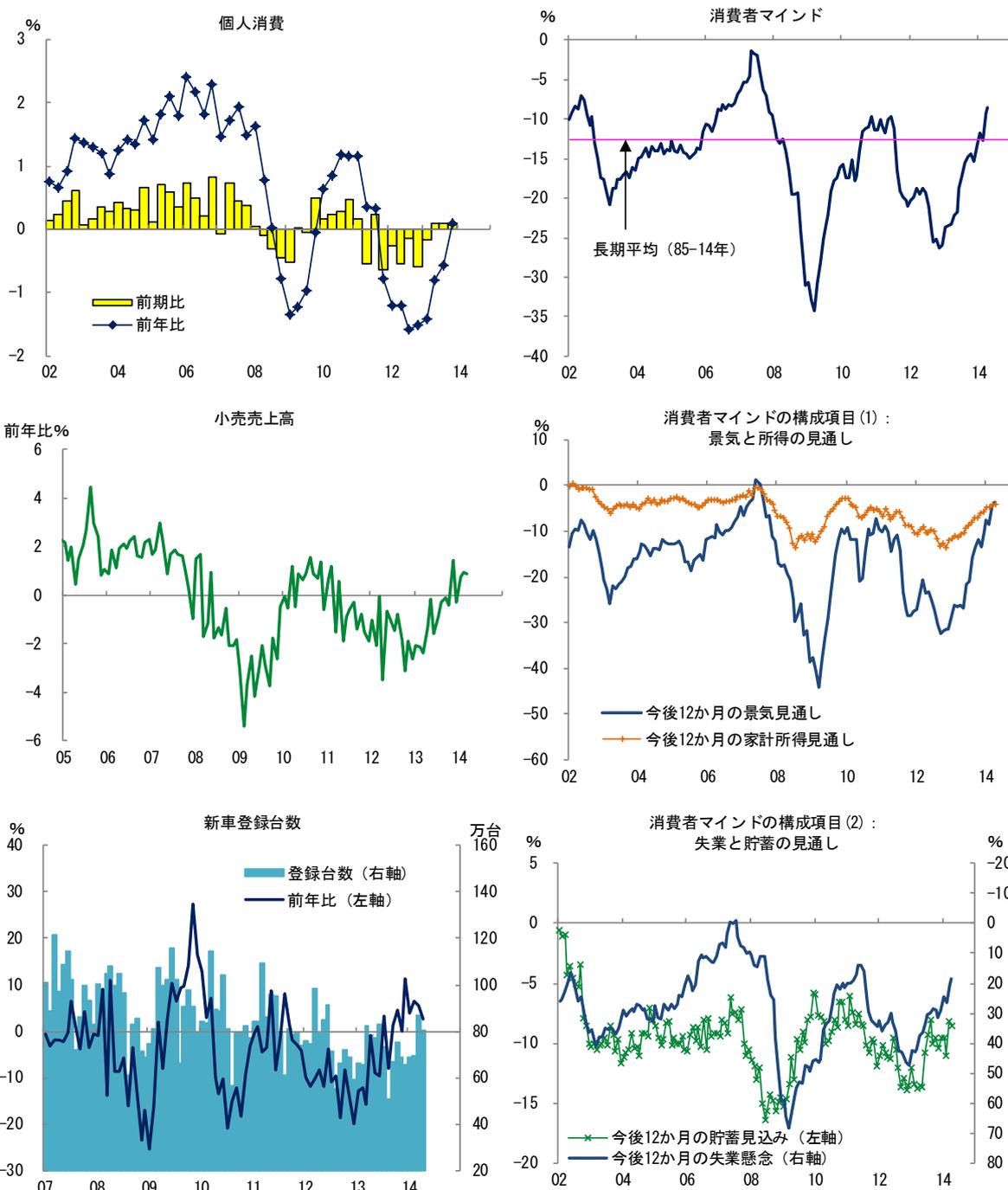


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 3月の小売売上高は前年比+0.9%。食品・飲料・たばこが4か月ぶりに前年割れを脱した
- 4月の新車登録台数は80万5千台。前年比は+2.7%となり、5か月連続の増加を記録
- 4月の消費者マインドはリーマン・ショック後のピークを越え、07年10月以来の高水準まで回復。今後12か月の景気見通し及び失業懸念の改善が続く

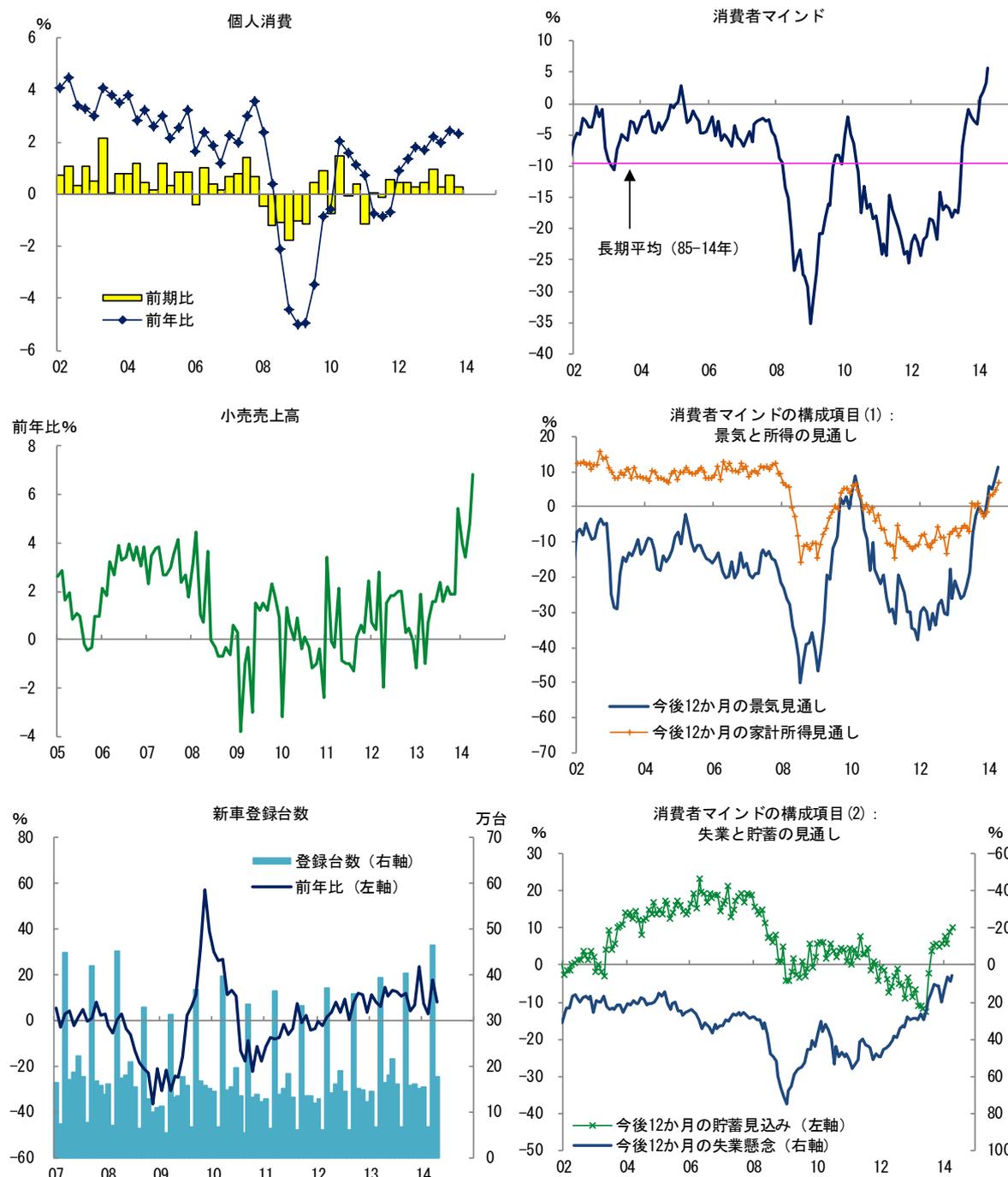


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 4月の小売売上高は前年比+6.9%と大きく加速。前月比ではロイヤルウエディングの特需で湧いた11年4月を除くと、統計開始以来最大の伸び。イースターと良好な天候が寄与
- 4月の新車登録台数は17万7千台。前年比は+8.2%と力強い伸びは変わらず
- 4月の消費者マインドは改善が続き、98年4月以来の高水準に達した

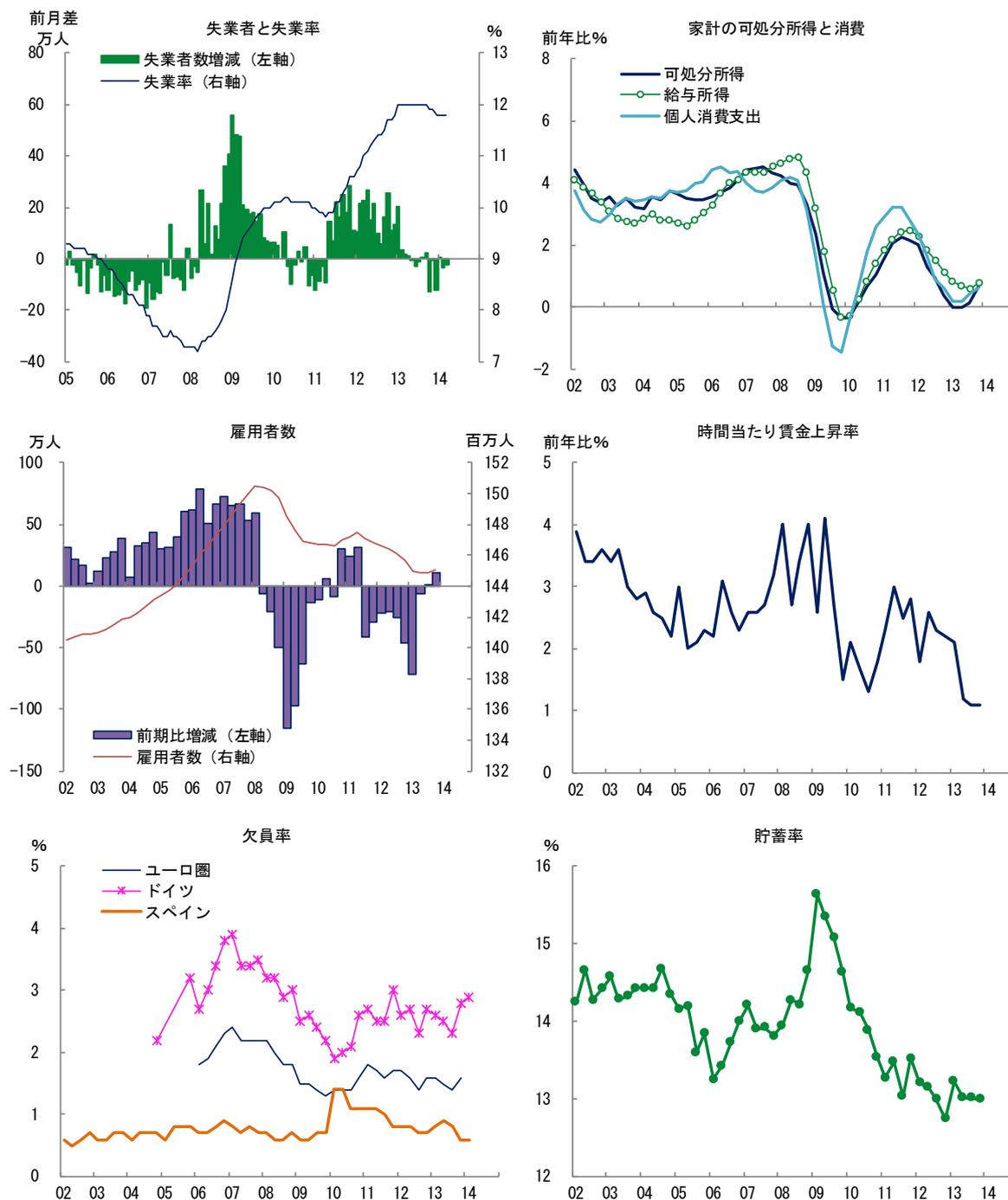


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 3月の失業率は11.8%となり、13年12月以来同水準が続く。失業者数は前月比-2万2千人と2か月連続の減少。スペイン、ドイツでの減少が継続
- 13年Q4の給与所得は前年比+0.8%に加速したが、可処分所得は同+0.7%とQ3と変わらず。ただし、個人消費支出は同+0.6%と加速
- 13年Q4の貯蓄率は13.0%で、3四半期連続で同水準

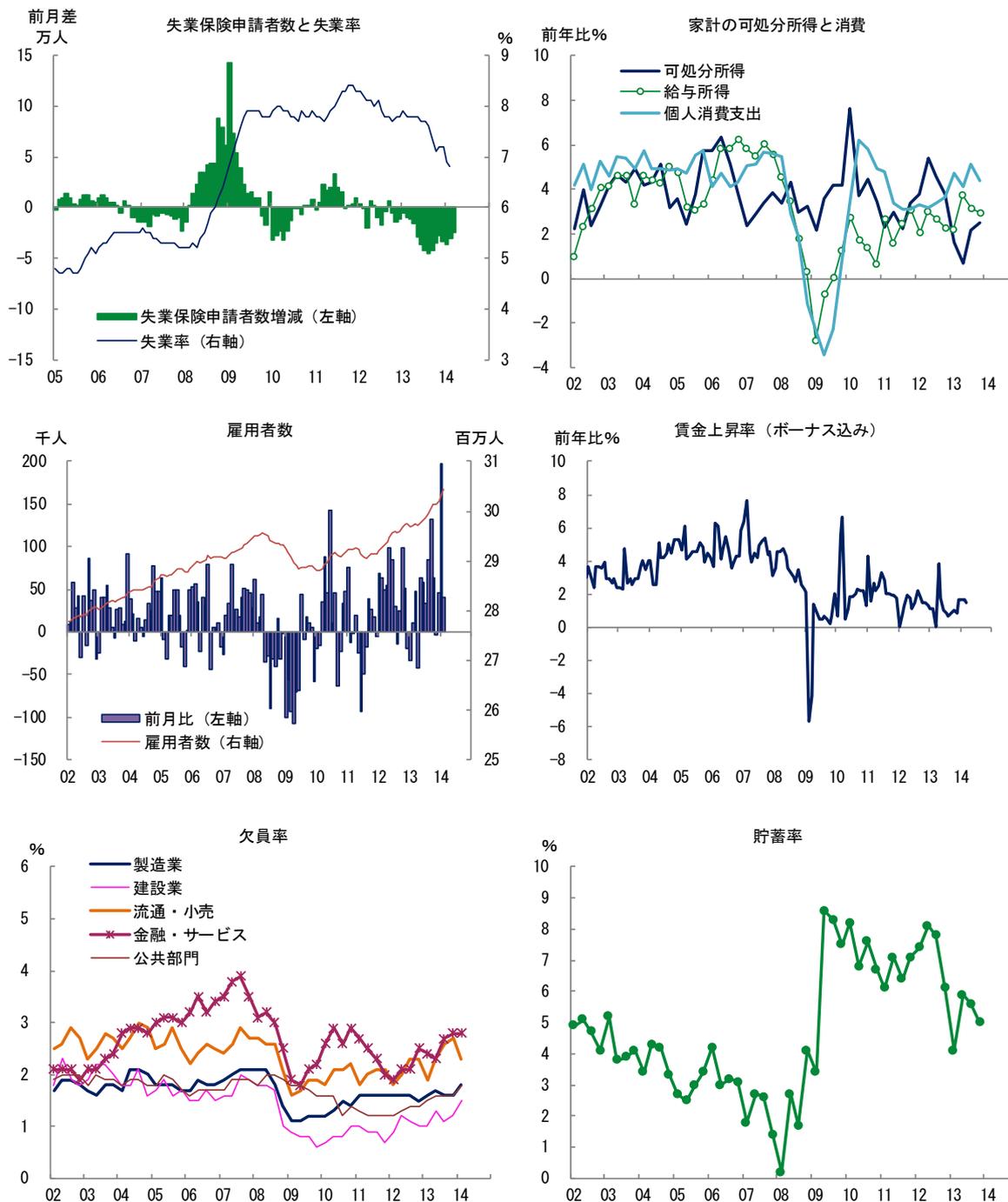


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 1-3月の失業率は6.8%に低下。雇用者数は12-2月比4万1千人増の3,043万人となり、統計開始以来最多を更新
- 失業保険申請者件数は前月比での減少が続く
- 3月の賃金上昇率は前年比+1.5%。ボーナスの減少により公的部門の賃金上昇率が減少に転じた

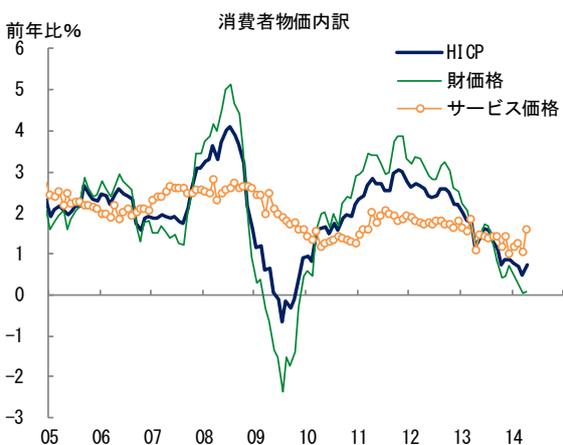
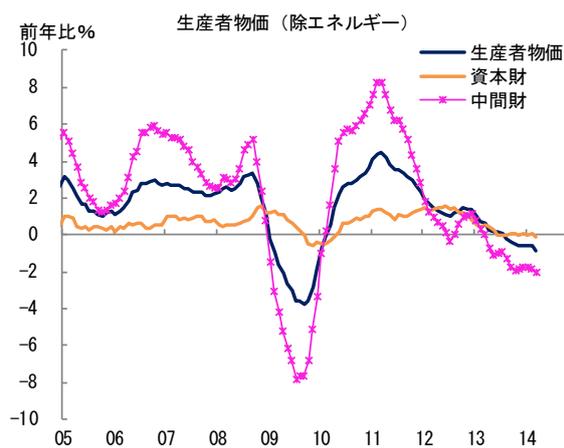


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

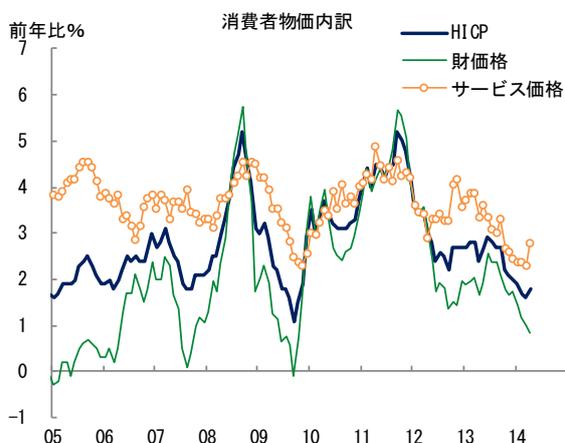
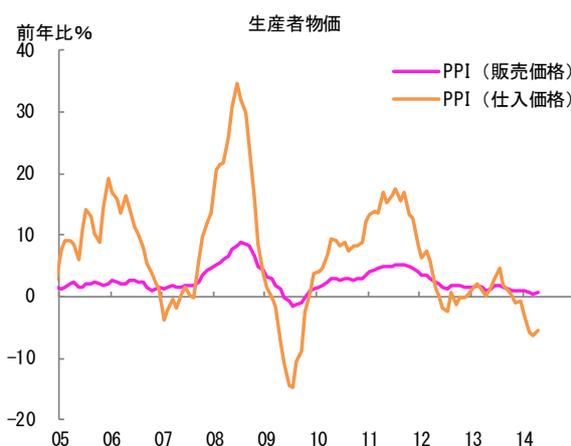
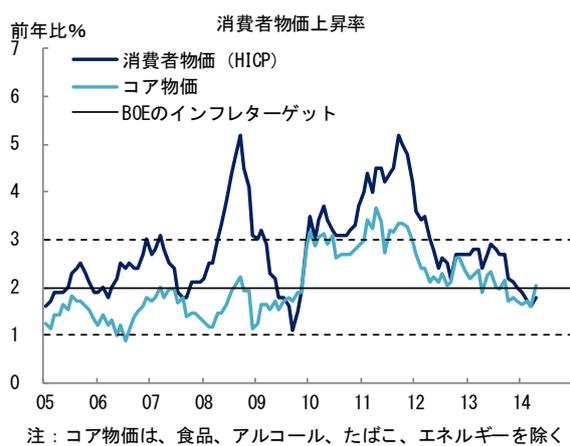
- 4月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.7%と3月より上昇。イースターの季節要因により、サービス価格（特に輸送及び娯楽）が同+1.6%に加速したのが主要因
- 3月の生産者物価は前年比-0.8%と下落継続。資本財物価は10年4月以来の下落となった
- 原油価格（北海ブレント）の緩やかな低下傾向が続く。一方、ユーロの名目実効為替レートは上昇傾向が続く



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

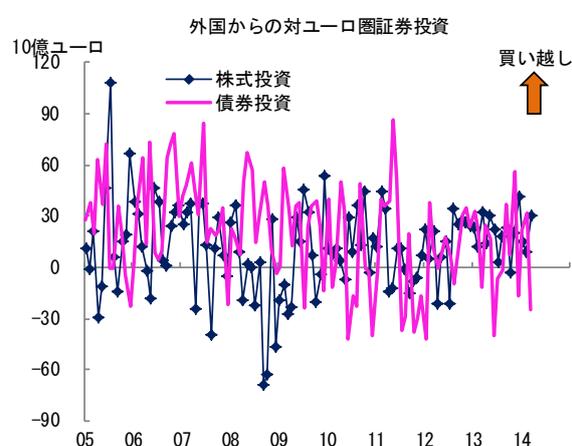
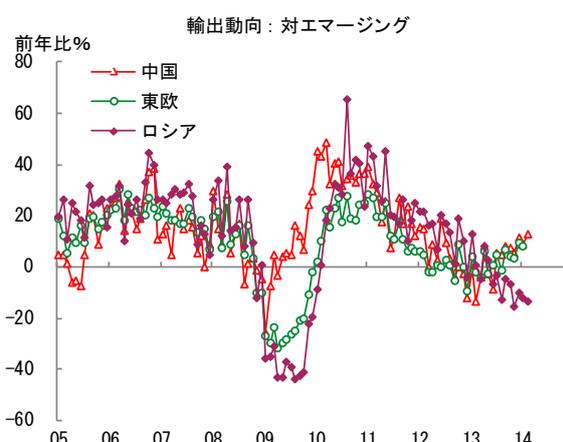
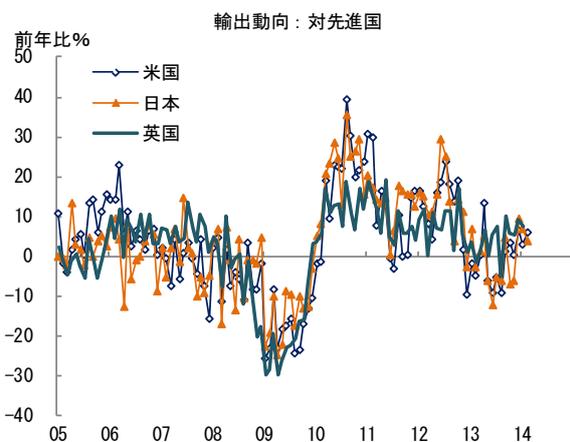
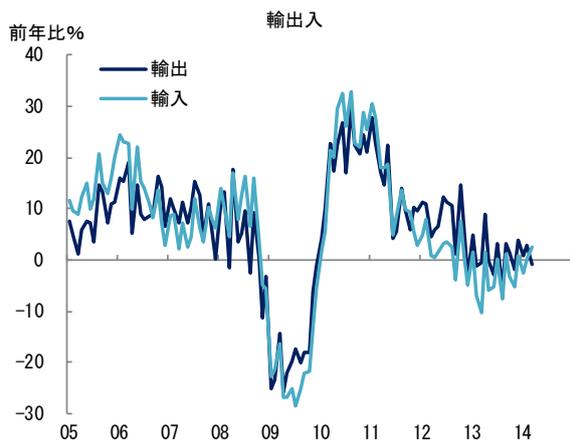
- 4月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.8%。季節要因（今年のイースターが昨年より3月から4月にずれ込んだ）により、空運や海運を中心とした輸送費が大きく上昇した
- 4月の生産者物価上昇率は販売価格は前年比+0.6%。仕入価格は同-5.5%と7か月連続のマイナス。ポンドの増価による輸入品全般の価格低下が主要因
- 3月の輸入物価上昇率は前年比-5.4%と下落幅の拡大が続く。4月のポンドの名目実効為替レートは前月比で上昇



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

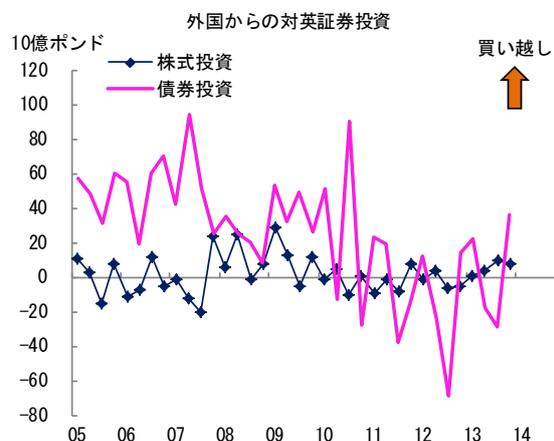
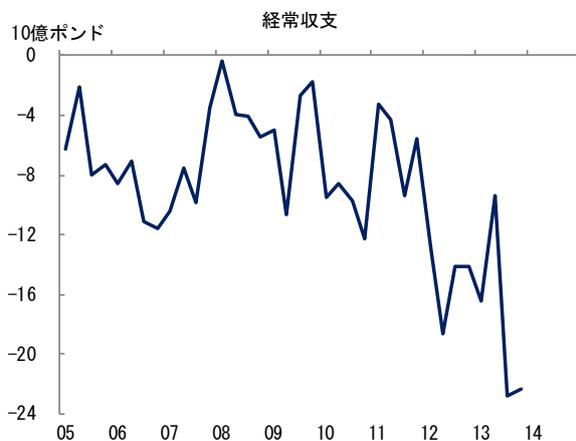
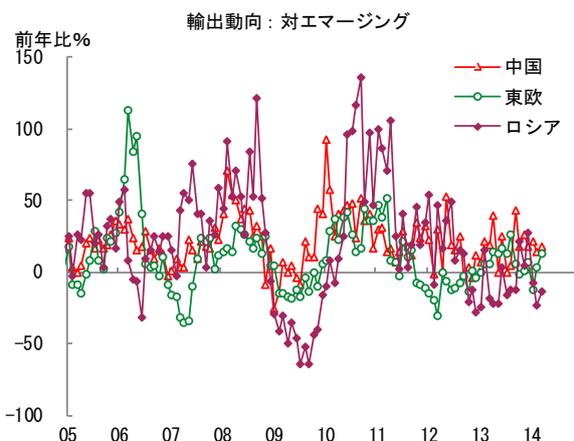
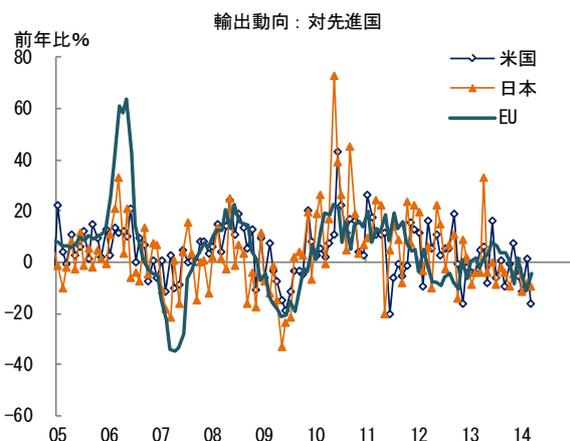
- 3月の輸出は前年比 -0.7% と4か月ぶりの前年割れ。機械・輸送用機器がマイナスに転じたため。一方、輸入は機械・輸送用機器の好調継続により同 $+2.5\%$ と加速
- 4月の輸出向け受注残判断は前月比やや悪化
- 主に経常移転収支の赤字縮小により、3月の経常収支は209億ユーロと2月から増加。外国からの対ユーロ圏証券投資は買い越しが続くが、債券投資は売り越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 3月の輸出は前年比-5.2%、輸入は同-6.1%。輸出入ともに燃料及び工業製品の大幅な減少が響いた。14年Q1でも輸出が前年比-5.4%、輸入が同-3.3%と共に減少となった
- 国別輸出動向を見ると、米国向けが前年割れに転じ、先進国向けすべてで前年比マイナスを記録。ロシア向けの減少が続くが、中国及び東欧向けは前年比で加速
- 4月の輸出向け受注残判断は、前月比で改善



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成